

第43回 ふじみ衛生組合地元協議会 議事録(要旨)

- 1 開催日時 平成27年11月10日(火)18時30分から19時30分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 20人(欠席者7人)
出席委員 小林義明(会長)、嶋田一夫(副会長)、石坂卓也、小松日出雄、佐々木善信、鈴木和夫、武谷宏二、田中一枝、田畑洋、土屋坦、埜義和、増田雅則、安方二郎、矢田部正文、山添 登
井上稔(副会長)、齊藤忠慶、荻原正樹、深沢典允、清水富美夫、柏原公毅
- 4 出席者
事務局 土方 明、今村好一、岩崎 誠、大堀和彦
エコサービスふじみ株式会社 望月 博
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 5 傍聴者 0人

議事次第

- 1 開会
- 2 管理者あいさつ
- 3 副管理者あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 正副会長選出
 - (1) 会長選出
会長挨拶
 - (2) 副会長選出
副会長挨拶
- 6 ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会委員選出
- 7 その他
 - (1) 施設見学について
 - (2) 次回日程
- 8 閉会

【配布資料】

- 【資料1】 地元協議会委員名簿
- 【資料2】 ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱
- 【資料3】 容器包装プラスチック製品のリサイクル施設

第43回 ふじみ衛生組合地元協議会

－18：30開会－

1 開会

- 事務局 : 1 正副管理者出席紹介
2 第4期の会長選任まで、事務局が司会する旨の確認
3 資料確認

2 管理者挨拶

清原管理者 : 皆様、こんばんは。ふじみ衛生組合の管理者を務めております、三鷹市長の清原慶子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

このたびは、ふじみ衛生組合の地元協議会の委員をお引き受けいただきまして、どうもありがとうございます。また、本日は夜間の開会でございますし、お足元の悪い中、冷たい雨の降る中、わざわざご参集いただきましたこと、重ねて御礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

後ほど自己紹介を委員の皆様にもしていただきますが、今回、初めてご参加された方もいらっしゃいます。このふじみ衛生組合は三鷹市と調布市の市民の皆様のご燃ごみ、不燃ごみを共同で処理するために構成されている団体でございます。したがって、地元のまさに近隣の市民の皆様はこのふじみ衛生組合の事業につきましてご理解をいただき、またご検討をいただき、ご提言をいただくということは欠かせないことでございます。したがって、この地元協議会、可燃ごみ処理施設が建設されるまでの間に、1期、2期と展開していただき、平成25年4月から本格稼働をしておりますので、それ以降、3期目を皆様にお務めいただき、本日より4期目がスタートするということとなります。

この間、皆様には大変貴重なご意見をいただいております。副管理者を務めていらっしゃる調布市長さんと私とでそうしたお声、とりわけ厳しいお声については傾聴をさせていただきながら、反映をするべく努力をさせていただいてきました。例えばでございますけれども、実は、稼働後、水銀含有物というのが発見されまして、そもそも皆様のご提案を受けて、この地域では比較的新しい取り組みとして、水銀に関しても規制値というのを私たちとしては設定をさせていただきましたので、だからこそわかる、その値を超える状況につきまして、対応をしております。そのときにも地元協議会の皆様から、ぜひしっかりとした啓発をするとともに、やはり、例えば水銀について、積極的にこのふじみ衛生組合で回収に協力するというのを三鷹市、調布市と一緒に進めていくことが重要であるという、まさに対応をしていくことこそ大切だというご提案をいただいております。

また、3期目の皆様から処理施設の緊急時及び要望対応等のマニュアルをつくるべきであるというご提言をいただきました。これは極めて重要な

ご提言でございましたので、そのことを最優先に事務局、また専門家の皆様のお知恵をいただきまして、対応ができました。ふじみ衛生組合のごみ処理施設に係る環境保全に関する協定書がまさに平成24年度に締結されて、その中身が実現したということをはんとにありがたく思っております。

さて、調布市におかれましては、11月4日に市制施行60周年の記念式典が開かれまして、私も議長ともども出席させていただきましたが、おめでとうございます。

長友副管理者： ありがとうございます。

清原管理者： また、三鷹市は11月3日に市制施行65周年を迎えました。切りがあまりよくないようでございますが、65周年ということで、三鷹市在住の故吉村昭さんの奥様でいらっしゃる津村節子さんを名誉市民に選び、表彰をさせていただきます。

お互いに三鷹市、そして調布市の市政の歩みの中で、共同の可燃ごみ処理施設、不燃ごみ処理施設というのは欠かせない市民生活の基盤でございます。今後とも地元協議会の皆様には、今日お並びのように、こちらは調布市の市民、こちらは三鷹市の市民となっていないわけでございます。50音順に並ばせていただきまして、もう市境を越えて、地元の市民の代表の声をこれからもお伝えいただき、また、ご提言いただければ幸いです。

結びに当たりまして、どうしてもこの会、夜分になりますことをおわび申し上げますとともに、11月22日にふじみまつりが開催の予定でございますので、その場にも皆様、ご参加いただきますようお願い申し上げます、挨拶といたします。大変にお世話になります、どうぞよろしくお願いたします。

(拍手)

3 副管理者挨拶

長友副管理者： 皆さん、こんばんは。組合の副管理者を務めております、調布市長の長友でございます。地元協議会、新たにお問い合わせの方もおられるわけですが、継続して参加いただいている皆様を含め、ほんとにありがとうございます。心から感謝を申し上げます。今、管理者のお話の中にごございましたように、何が起こるかわからないという緊張感は常に持っているわけですが、円滑に組合事業運営がなされている、その中に皆様方が果たしていただいている役割、この43回という回数だけを見ても、ほんとにありがたいなと思わずにはおられません。今後ともよろしくひとつお願いを申し上げます。

それから、2市の共同事業でございます。言うまでもないわけでございます。やはりチームワークというか、お互いの連携、ほんとにいい環境で保たせていただいておりますので、両市とも減量に努め、それから、両市ともリサイクル率は全国に誇れるような水準になってきております。皆様方のいろいろなご提言もその中に大きな貢献をいただいているとい

うことをございます。

それから、2市の協調ということを考えていきますと、その後どうなるのかというと、ご存じのように、焼却灰になったものを日の出町に持ち込ませていただいて、例えば環境に優しいセメントをつくったりしております、エコセメント事業。これは2市ではなくて、25市1町、26自治体が協力をしながら、1つの事業を運営しているということになります。ですから、草の根の力がどんどん大きな輪になっていっているということで、ちょっと迂遠なことを申し上げますけど、来る前、夕方のニュースをたまたま見ておりましたが、パリでC O P 2 1、気候変動の枠組み、俗に言うと、温暖化に対する意見集約でありますけれども、「21」だと、有名な京都議定書はC O P 3であったから、18年たったんだなど。あのとき私、C O P 3の末端の末端でちょっとかかわっておりましたから、ああ、もう20年近くたったのか、京都議定書にかわる新しい枠組みを今度パリで議論するという話になっていますね。これはごみの問題だけにとどまらない環境全体でございます。それで、いかに国際的に協調を保って多くの国が決めたとしても、それが達成できるかどうかというのは、やっぱり一国一国が、その地域が、この単位が、どうしても一人一人の生活の中からの力の集約で地球全体が守られているということを改めて認識せざるを得ないので、最初に申し上げましたように、そういう迂遠な話だけするつもりはないんですが、この地元協議会の中で、ここの運営に関して、また、2市の環境問題全体に対してご提言をいただくことが、やはりそのようなきずなを深めていって、より大きな力になることだと改めて認識をしているところでございます。

皆様方のご提言をほんとに確かな力とすべく全力を尽くしてまいりますので、今後ともひとつよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(拍手)

4 委員自己紹介

50音順に各委員自己紹介を行い、その後事務局担当職員を紹介

5 正副会長選出

(1) 会長選出

事務局 : 続きまして。次第の5、会長の選出でございますが、資料2、地元協議会設置要綱の第4条に会長及び副会長について規定がございます。会長について、三鷹市及び調布市、それぞれの地域住民の皆さんの委員から交互に互選ということで、前期は調布市の住民委員の方に会長を務めていただきましたので、今回は三鷹市の住民委員から選出いただければと思います。

どなたか会長について、ご推薦をお願いいたします。

A委員、どうぞ。

A 委員 : 連雀住民協議会から出席させていただいています〇〇委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局 : ただいま、連雀地区住民協議会の〇〇委員をとのお声がありました。ほかに三鷹市の方、ご推薦する方、いらっしゃるでしょうか。
それでは、ないようですので、〇〇委員を当地元協議会会長とすることでご異議なければ、拍手をお願いいたします。

(拍手)

事務局 : 皆様のご賛同がいただけましたので、〇〇委員が会長に選出されました。それでは、会長に自席からご挨拶をお願いします。

会 長 : ただいま会長へのご指名をいただきました。皆様に協力をいただきながら、会長職を務めていきたいと思っております。よろしくお願いします。
ただ、私も前にも会長は経験しております。やっぱりこういうことは皆さんで負担は同じようにしていただければいいなと思うんですけれども、何分にもご指名をいただきましたので、務めさせていただきます。どうぞ2年間よろしくお願いします。

(拍手)

(2) 副会長選出

事務局 : ありがとうございます。続きまして、副会長の選出です。先ほど申し上げたとおり、調布市の住民委員の中から選出をお願いします。

B 委員、どうぞ。

B 委員 : ふじみ地区自治会等連合会から出ていただいています◎◎委員を副会長として推薦したいと思います。よろしくお願いします。

事務局 : ただいま◎◎委員を副会長というB委員からご推薦がございました。ほかにどなたか推薦される方いらっしゃるでしょうか。
なければ、◎◎委員を副会長にということですので、ご異議がなければ、再度拍手をお願いいたします。

(拍手)

事務局 : ありがとうございます。a 副会長から一言ご挨拶をお願いいたします。

a 副会長 : 推薦をいただきました◎◎です。会長をしっかりとサポートできるように頑張りたいと思います。皆さんの協力、よろしくお願いします。

(拍手)

事務局 : ありがとうございます。次に、ふじみ衛生組合職員選出委員の副会長ですが、前期に引き続き、ふじみ衛生組合事務局長の●●委員といたしたいと思いますが、ご異議なければ拍手をお願いいたします。

(拍手)

事務局 : それでは、b 副会長、ご挨拶をお願いいたします。

●●委員 : 引き続きよろしくお願いします。

(拍手)

事務局 : ありがとうございます。ここで、正副管理者は、次の公務のため退席させていただきます。

長友副管理者： すみません。よろしくお願いします。

清原管理者： 会長、a 副会長、どうぞよろしくお願いします。皆様、よろしくお願いします。ありがとうございました。

6 ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会委員選出

事務局： それでは、会長と副会長、申しわけございませんが、席の移動をお願いします。

以後の進行につきましては、会長にお願いいたします。

会長： それでは、ここからは私が進行をさせていただきます。よろしくお願いします。本日は、20名の委員の皆様にご出席をいただいておりますので、会議は有効に成立いたします。また、今後の協議会にパシフィックコンサルタンツとエコサービスふじみ株式会社の職員が同席いたしますので、皆さん、よろしくお願いします。

次に、次第6番目、ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会委員の選出について、事務局から説明をお願いします。

事務局： それでは、平成27年6月に改選をされ、2期目の委員が委嘱をされました。任期は平成29年6月12日までとなっております。ここで、地元協議会委員の改選がありましたので、地元協議会委員から安全衛生専門委員会委員を選出していただくこととなります。正副会長は、安全衛生専門委員会設置要綱第3条において、委員として定められておりますので、三鷹市住民委員として1名、それから、調布市住民委員として1名の委員の選出をお願いすることとなります。

会長： ありがとうございます。三鷹市住民委員、調布市住民委員として、希望者はいらっしゃるでしょうか。なければ推薦をお願いします。

B委員、どうぞ。

B委員： 専門委員には、香風自治会から出ていただいておりますC委員に引き続き専門委員をやっていただきたいと思っております。よろしくお願いします。

会長： 三鷹市住民委員のほうはいかがでしょう。

B委員： よろしいですか。

会長： どうぞ。

B委員： それでは、垣根はないということでございますので、垣根を払いまして、三鷹のほうでも、引き続き専門委員をやっていただいておりますD委員にぜひお願いしたいと思っております。よろしくお願いします。

会長： ただいまB委員からD委員とC委員のご推薦がございました。お二人に継続して安全衛生専門委員会の委員をお願いするというところでよろしいでしょうか。

(拍手)

会長： ありがとうございます。それでは、D委員、C委員にお願いいたします。C委員ご挨拶をお願いします。なお、D委員は都合により出席されてお

りません。

C委員 : ただいま選出いただきましたCでございます。今後とも一生懸命やりたいと思います。よろしくお願いします。

(拍手)

7 その他

(1) 施設見学について

会長 : 次に、その他で、施設見学について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : それでは、別紙3をご覧ください。年間計画にあります施設見学について、資源化施設を見学したいというご要望がございました。現在、ふじみ衛生組合リサイクルセンターで、両市から収集しておりますプラスチックのリサイクルを行っているジャパン・リサイクル株式会社を施設見学先として決めさせていただいております。

日時でございますけれども、年明け後ですが、28年の1月19日火曜日と決めさせていただいております。相手先の施設の日程等の調整の結果、19日ということで決めさせていただいております。

行程につきましては、資料の4ページを開いていただきたいと思います。そこに日程が書いてございますが、8時15分にふじみ衛生組合の敷地内にごきます駐車場に集まっていただきまして、8時30分に貸し切りバスにて出発を予定しております。そして、千葉県千葉市にごきますジャパン・リサイクル株式会社に、午前10時頃に到着予定でございます。そこで1時間半ほど施設見学をした上、そこを11時半に出発をして、うみほたるで休憩と食事をする予定になってございます。そして、現時点では、午後3時にふじみ衛生組合に到着をして解散という計画でございます。

施設の内容でございますけれども、1ページに戻っていただきますと、細かな工程等につきましては2ページ、3ページに書いてございますので後ほど見ていただきたいと思います。簡略的にお話を申し上げますと、両市から集められた容器包装リサイクル法にのっとりプラスチック類は、まず、この施設に運ばれまして、袋を解体して、ばらばらになった状態で機械の中に投入されていきます。それが順番に、青い四角に書かれている1、2、3、4、5、6、7、8、9という工程を踏まえて処理をされていきます。

簡潔に申しますと、この工程の中で容器包装プラスチック類は、高温のガスの熔融炉の中に投入をされてガス化、分解をされていきます。ガスとなったものは精製をされて、JFEスチール株式会社に併設されております鉄工所の溶鉱炉の助燃剤として使われていくということでございます。

そして、残渣となってきたカーボンにつきましては、そこに書いてあります黒い8、6でございますが、そこに排出されて再資源化のルートに乗って加工をされていきます。

詳細につきましては、2ページ、3ページに、その番号順に追った内容

が記載をさせていただきますので、もう一度お帰りになってから一読をしていただきたいと思っております。

会 長 : 何か、この点に関して質問はございませんでしょうか。
では、現時点で参加できる方、挙手願います。

事務局 : おおむね全員の方に近いようです。まだ予定が、はっきりされていない方につきましては、キャンセルは可能ですので、念のため参加される前提で準備をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(2) 次回日程

会 長 : よろしければ、次回日程を事務局よりお願いします。

事務局 : はい。次回の日程でございますけれども、来年の2月25日木曜日か、26日の金曜日にお願いできればと思っております。

会 長 : はい。2月25日木曜日は、いかがでしょうか。皆さん、都合いい？というか、そんな先、わからないですね。

じゃあ、2月25日木曜日ということで、よろしくお願いたします。

E委員 : 年何回になりますか。

事務局 : 施設見学を除き、年に4回を予定しております

会 長 : まだまだ時間があるんですけれども、何か、ここで言いたいというご意見がございましたら。

(「ふじみまつりは」) との声あり

会 長 : では、ふじみまつりについてお願いします。

F委員 : 席上配付をさせていただいた資料は、皆様へのお知らせでございます。

ふじみまつり、冒頭に管理者のほうから皆様方にお知らせ申し上げたとおり11月22日でございます。広報に大きな、わかりやすいお知らせがございます。ふじみまつりも第3回となり、11月22日の日曜日、午前10時から午後2時半までの予定で、開催させていただきます。

ふじみまつりは地元協議会の委員の皆様からご提案いただき、私どもの施設が地域の皆様に親しまれ、愛される施設を目指して、親しんでいただきたいという思いから、地域の方々に開放させていただくお祭りとして、施設見学も兼ね1日楽しんでいただければと思う気持ちで開催をさせていただくものでございます。

広報の中段あたりに、いろいろ当日の催しものについて掲載しております。リサイクル品の販売、模擬店等々を含みまして、消防署さん、あるいはその下のJAXAさん、おもちゃの病院さん、これは電通大学さんです。そして、皆様の地域の自治会、あるいは町会、住民協議会と一緒に、近隣同の公共施設の皆様を含めて、地域一体となってこのような催し物の出店等々、啓発事業に取り組んでいただくというところでございます。

来ていただければ、1日いろいろ楽しく過ごせるのかなと思っております。地元協議会を主体として実行委員会において春からいろいろ検討させていただいて、実施に向けて最後の打ち合わせをしながら、この開催に向

けて鋭意準備を進めておりますので、ぜひ皆様お越しいただければと思っております。

ちなみに、第1回、第2回とも非常に天気に恵まれまして、この2回のふじみまつりの経験からすると、この日は大体晴れのはずだと思っておりますので、あまり会議の中でも雨天の場合などは話題にならず、1,500人ぐらいの皆様方に来ていただいて、楽しんでいただこうかなと思っておりますので、ぜひ足のほうを延ばしていただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

会 長 : ありがとうございます。

G委員 : いいですか。私、意見があります。

会 長 : はい、どうぞ。G委員。

G委員 : 実は我々、調布として、地区協議会を北ノ台小学校をベースにして、今年立ち上げたわけなんです。それにおいて、運営委員も58人、役員も10人、そして、それもこの町を、安全・安心の町をつくるために運動しておると同時に、調布のふじみまつりを盛り上げたいということと同時に、例のふじみまつりの22日におくれて28日に、我々北ノ台地区、北ノ台まちづくりネットワーク地区協議会。調布は小学校が20校ありまして、各小学校をブロックにして、俗にいうまちづくり、コミュニケーションを。それが、ようやく15番目にできたわけなんです。それにおいて運営委員は、ふじみ衛生組合からもH委員が出ていただくと同時に、56人の中で市議員も2人、それから、例の児童館の館長から、ありとあらゆる構成で成立しているわけなんです。

その第一事業として、実は防災訓練を28日に行うにおいて、できればPRを図りたいと。ところが、それはだめだということと言われて、会長からも、そんなばかなことはないじゃないかということで、諮ってくるように言われておるんですけども、どこか隅でもいいですから、調布の人たち、あるいは皆さんに、できれば防災訓練に来てもらえないかというように勧めたいと思っているんですけど、それでいかがでしょうか。

会 長 : ふじみまつりの中でということですよ。

G委員 : そうです、そうです。これは、この地区の一番大きいまちづくりの、行政からも……。そうじゃないうちは、この意味はなさないと思うんですよ、ふじみまつりそのものが。我々の北ノ台小学校、ここは自治会が17あって、人口が1万3,000人。それから、地区協議会でも、そういう協議会には行政とペアで協働推進課、これは自治連もそうなんですけれども、結局、市長たちとまちづくりをやっているわけなんですよ。これはH課長が担当課長でよくご存じだから、そのあたりね。実は、我々の会長からその旨を言われてまいりました。以上です。

a 副会長 : ちょっといい？

会 長 : はい、どうぞ。

a 副会長 : G委員、このビラを、お祭りのときに宣伝でまきたいと。

G 委員 : そうです、そうです。調布の方にね。できれば参加して欲しい、こういうあれです。

a 副会長 : ということだというんで、問題はないけど……。

G 委員 : H 課長が、それはよく知ってると思いますよ。

H 課長 : はい。G 委員から以前からご相談を受けていまして、北ノ台小学校の地区協議会のほうでこういう宣伝をしたいということで、宣伝をしていただくことはもちろん地域のことなので問題ないのかなと思っておりまして、ただ、新たにブースというか、机ですとか椅子を設けてという場所は、ちょっと今年度は既に決まっている中で進んでいるので、また新たに設けるというのはちょっと難しいですというお話をさせていただいていたところなんです。

確かに、どちらかのブースのところにこれを置いていただいて、宣伝していただいたり、協力していただきながらやっていただく分にはいいのかなとは思っているんですけども。一応、そのようなお話をさせていただいているところです。

G 委員 : 場所はとる……、何も立って……、どうですか。また、範囲内で配りたいと、我々が。以上です。

会 長 : わかりました。

皆様、よろしいでしょうか。この防災訓練のチラシを、ふじみまつり会場のどこかしらに、置きたいということでございますが、よろしいですか。

(「いいんじゃないですか。」の声あり)

会 長 : 皆様の活動のお手伝いをするということで。はい。

G 委員 : それは我々、今も言いましたけど、ふじみまつりも我々が一緒に盛り上げていくんですからね。その一環でございますから、そこは誤解のないようお願いしたいと思います。

会 長 : わかりました。

じゃあ、皆様が置いてよろしいということでございますので、置いてください。

G 委員 : はい。

会 長 : はい。お願いします。

はい、どうぞ。C 委員。

C 委員 : 時間がたっぷりありますので、あまり大したことじゃないんですが、一つ。

西門に花壇を、今、つくっております。しかし、守衛所が、美観を損ねている事情があります。守衛所ですから、撤去するわけにはいかんのですが、せっかくつくったものをきれいに見せたいので、守衛所の花壇が面している面に、グリーンカーテンでもつくってもらえないかという提案です。

要望として聞いていただければありがたいです。

会 長 : わかりました。要望として承ります。

ほかに何も……、どうぞ。

- E 委員 : 初めてなので、初歩的な質問をさせていただきます。この施設が立派だというのは読んでわかったんですが、現実どういうものかよくわからないんですね。それで、例えば個人とか、ある程度団体で見学を希望する場合、どういうふうな手続をとればいいのか。私もこの際、1回、名前だけの委員ではなくて中をしっかりと見学させていただきたいなと思って、一人がもし無理であれば、仲間の何人かで参加したいと思いますけど。
- 会 長 : はい、どうぞ。
- I 委員 : 今、施設見学についてご質問をいただきました。施設見学につきましては、原則一人でも大丈夫です。ただ、説明員がついての説明となりますと、事前に人の手配をしなければいけませんので、説明員の説明が必要な場合には事前に予約をしていただくようになります。それ以外のときでしたら、一人でもグループでも構いません。
- E 委員 : それは当日いきなりでも大丈夫なのですか。
- I 委員 : 当日ふらっと遊びに来ていただいても、それは一向に構いません。ただし、説明員をつけるのでしたら、人の手配が必要なので、予約をお願いすることになります。
- E 委員 : それは、個人でも説明員はオーケーなんですか。
- I 委員 : はい、大丈夫です。また、曜日につきましては月曜日から金曜日までで、祝日は避けていただきたいということです。
- それと、もう一つ。ふじみまつり当日も見学会を開催していますので、もしふじみまつりに来る予定がございましたら、このときにぜひごらんいただければと思います。
- E 委員 : わかりました。
- I 委員 : はい。よろしく願いいたします。
- 会 長 : ほかに、何かございませんか。よろしいですか。
- では、本日の地元協議会を終了とさせていただきます。大変お疲れさまでございました。

—19：30散会—